

## ◆教員紹介

### 小原 一博 OHARA KAZUHIRO 観光学部 学部長・教授

|          |   |
|----------|---|
| 専門分野     | 理論経済学、ゲーム理論   |
| 研究活動     | 国際寡占市場における企業戦略をゲーム理論を用いて分析し、企業の価格決定や市場参入行動等の最適化メカニズムを解明する研究を行っています。 |
| 担当授業     | 調査研究1、基礎演習  |
| 学外での取組など | 国際専門誌に投稿された研究論文の査読を行っています。  |

### 白神 昌也 SHIRAKAMI MASAYA 観光学部 教授

|          |   |
|----------|---|
| 専門分野     | 公共交通、地域交通政策   |
| 研究活動     | 地域における公共交通についての研究および交通政策についての研究を進めています。                 |
| 担当授業     | 世界と日本の観光事情、観光事業体概論、観光と交通、鉄道旅行論、地域交通計画、専門演習I・II、卒業研究I・II |
| 学外での取組など | 地域交通の現状調査のためのフィールドワークを行い分析しています。                        |

### 坪根 由香里 TSUBONE YUKARI 観光学部 教授

|          |  |
|----------|--|
| 専門分野     | 日本語教育学、作文教育  |
| 研究活動     | 日本語の作文教育・作文評価に関心を持ち、最近では、特に出来事や自分の経験等を時間軸に沿って記述する「ナラティブ」を対象に研究を行っています。また、日本語教師のピリーフ研究や日本語教員養成課程で学んだ学生のキャリア研究も行ってきました。                            |
| 担当授業     | 言語習得論、日本語教育概論、日本語教育実習、日本語教育実践、日本語教授法、日本語文法、基礎演習、調査研究1・2・3  |
| 学外での取組など | これまで日本語教育学会学会誌委員会主査担当委員、日本語教育学会代議員、小出記念日本語教育学会編集委員長等を務め、現在は、小出記念日本語教育学会理事の業務に取り組んでいます。また、介護施設を訪問して、介護福祉士国家試験のための勉強をしながら働いている外国の方々の日本語学習支援をしています。 |

### 佐久間 留理子 SAKUMA RURIKO 観光学部 教授

|          |   |
|----------|---|
| 専門分野     | 宗教学・仏教の思想と文化  |
| 研究活動     | マンダラ（密教的世界観）について、図像と思想との関係性を研究しています。また世界遺産の寺院・遺跡等（観光宗教空間）を調査し、図像や儀礼の意味について文献を手がかりに読み解いています。著書(単著):『観音菩薩』春秋社(2015)等。 |
| 担当授業     | 日本語表現基礎・応用、社会科学入門、観光宗教空間、現代における幸福と自己、基礎演習、文化鑑賞創造実践1、調査研究1・2・3   |
| 学外での取組など | 公益財団法人中村元東方研究所・理事を務めるほか、東方学院、及び、大本山成田山新勝寺仏教文化講座において講師を担当しています。  |

## ◆教員紹介

### 身玉山 宗三郎 MITAMAYAMA SOZABURO 観光学部 教授

|          |  |
|----------|--|
| 専門分野     | 法学、政策学、地域研究（インドネシアを中心に）、国際協力論、翻訳・通訳学、観光学（吉方旅行）   |
| 研究活動     | インドネシアの伝統的な紛争解決制度の現代司法制度への適用について研究していますが、最近では日本国内の行政事件訴訟の紛争処理過程の事例研究をしています。観光学分野では吉方旅行の研究を進めています。  |
| 担当授業     | 日本語表現基礎・応用、社会科学入門、グローバルリテラシー、市民リテラシー、基礎演習、調査研究1・2・3  |
| 学外での取組など | 日本インドネシア法律家協会の常務理事を務める他、本学地元の熊取町の行政改革審議会の審議委員を務めさせていただいております。最高裁判所において登録している法廷通訳翻訳人として実際の通訳事件に貢献したり、新規の法廷通訳翻訳人の登録手続の立会人としても貢献しています。防衛省における公務にも携わっています。 |

### 金 世徳 KIM SAEDUK 観光学部 教授

|          |  |
|----------|--|
| 専門分野     | 政治学、ダークツーリズムと和解学   |
| 研究活動     | ダークツーリズムを通じた日韓和解の可能性について研究を進めています。   |
| 担当授業     | 社会科学入門、世界と日本の観光事情、市民リテラシー、初級ハングル1・2、基礎演習、文化鑑賞創造実践1、調査研究1、専門演習I・II、卒業研究I・II           |
| 学外での取り組み | 現代韓国朝鮮学会の広報理事、日韓国際学術学会の副会長、日本韓国語教育学会の筆頭副会長や駐神戸大韓民国総領事館のオンブズマンなどを務めるなど国際的な活動を展開しています。 |

### 小槻 文洋 OTSUKI FUMIHIRO 観光学部 教授

|          |   |
|----------|---|
| 専門分野     | 観光学、サステナブルツーリズム   |
| 研究活動     | オーバーツーリズムや気候変動への対応も視野に、持続可能な観光の実現に向けた各地の取組や概念的・理論的研究の展開に関心を持って調べています。また新たな観光学教科書の出版に向けて、観光研究の現状と課題を批判的に整理する作業に取り組んでいます。 |
| 担当授業     | 地元を知る、エコ・グリーンツーリズム、科学技術リテラシー、環境リテラシー、観光学原論、基礎演習、地域連携実践1、職業連携実践1、調査研究1、専門演習I・II、卒業研究I・II                                 |
| 学外での取り組み | いくつかの地域連携の授業や高大連携の授業に関わるほか、社会人向けのリカレント講座の一部科目で講師を担当しています。   |

### 宮原 道子 MIYAHARA MICHIKO 観光学部 教授

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 専門分野 | 教育心理学、認知心理学                         |
| 研究活動 | 教育に関わる心の仕組み、特に記憶の仕組みに興味があります。また、授業に |

## ◆教員紹介

|          |   |
|----------|---|
|          | 関わるシラバスやアンケートの研究もしています。                           |
| 担当授業     | 心が動く仕組み、日本語表現基礎、観光調査入門、現代における幸福と自己、基礎演習、調査研究1・2・3 |
| 学外での取り組み | 日本心理学会、日本教育心理学会、日本認知心理学会、日本ワーキングメモリ学会 会員          |

### 細川 比呂志 HOSOKAWA HIROSHI 観光学部 教授

|          |   |
|----------|---|
| 専門分野     | 観光学（観光地経営、観光まちづくり、DMO経営、観光人材育成）   |
| 研究活動     | 観光地経営に必要な“地域資源の活用、観光客のニーズ分析、持続可能性、経済効果、住民との共生、人材育成”に関連する研究に取り組んでいます。  |
| 担当授業     | 観光事業体概論、観光DX、地域デザイン、観光リスクマネジメント、観光資源論、ホスピタリティマネジメント、MICE・IR コンベンションビジネス、地域連携実践1、地域連携実習1、職業連携実践1、職業実践実習1、専門演習I・II、卒業研究I・II |
| 学外での取組など | 兵庫県朝来市の観光基本計画外部評価委員として、地域観光の課題分析や政策提言を行っています。また、大阪府・市や泉州地域の自治体や団体とも連携し、観光まちづくりに関連する実践的な取り組みや、講演活動をおこなっています。               |

### 太田 均 OTA HITOSHI 観光学部 教授

|          |   |
|----------|---|
| 専門分野     | 観光まちづくり   |
| 研究活動     | 現在は、観光まちづくりにおける、①観光産業とまちづくりの接近によるコンフリクト（対立・軋轢）要因と、②それがどのような地域価値によりどうやって解消・妥協され得るのか、を明らかにする研究を行っています。  |
| 担当授業     | 職業としての観光—観光学入門II、観光事業体概論、観光政策論、旅行産業論、インターンシップ1・2、文化鑑賞創造実践1、地域連携実践1、地域連携実習1、職業連携実践1、職業実践実習1、専門演習I・II、卒業研究I・II  |
| 学外での取組など | 本学と連携包括協定を締結した国土交通省近畿運輸局（観光部）との協働による、教育・研究・観光振興および観光人材育成に係る相互支援に取り組んでいます。<br>また、兵庫県阪神地域（芦屋・西宮・宝塚）を基盤としたオンライントラベルエージェント（OTA）と連携し、観光コンテンツ開発および情報発信のサポートを行っています。 |

### 小野田金司 ONODA KINJI 観光学部 特任教授

|      |  |
|------|--|
| 専門分野 | 観光学、観光人材育成、リカレント教育、観光地経営、地方創生  |
| 研究活動 | 社会人向けの観光人材育成事業を13年実施。文部科学省、観光庁の委託事業を受託しながら日本の観光立国に必要な地域観光の人材要件、身につけたい技術とスキルを体系的に整備し観光人材育成の研究を進めています。 |
| 担当授業 | 観光事業体概論、DMO経営論、デジタル観光マーケティング、観光メディア・   |

## ◆教員紹介

|          |   |
|----------|---|
|          | インフルエンサー、イベント企画論、文化鑑賞創造実践1・2、地域連携実践1、職業連携実践1、地域連携実習1、職業実践実習1  |
| 学外での取組など | 観光庁の人材ガイドラインに準拠し、文科省認定のBPプログラム「観光地経営人材養成課程」を毎年展開。和歌山県と産業界との連携で観光庁第2のふるさとづくりプロジェクト、国交省二地域居住推進プロジェクト、総務省ふるさとミライカレッジも展開中。リカレント教育のコミュニティ観光立国プラットフォームの理事長も兼務 |

### 小野 健吉 ONO KENKICHI 観光学部 特任教授

|          |  |
|----------|--|
| 専門分野     | 観光文化・造園学   |
| 研究活動     | 文化遺産の保存ならびに活用に関する研究を進めています。近年のテーマは、境内の雰囲気や眺望景観を活かした西国三十三所観音霊場の観光的活用です。また、本来の専門領域である庭園史では、「浄土庭園」の定義の見直しに実証的に取り組みたいと思っています。  |
| 担当授業     | 文化・自然遺産論、観光学特別演習（庭園）、ヘリテージマネジメント、文化鑑賞創造実践1   |
| 学外での取組など | 今年度から、日本遺跡学会の会長を務めています。200名たらずの小規模な学会ですが、遺跡を対象に保存・活用・調査研究・整備・観光といった観点からアプローチしています。行政への貢献としては、和歌山県文化財保護審議会委員および奈良市文化財保護審議会副会長のほか、世界遺産紀伊半島の霊場と参詣道三県協議会専門委員会委員、福井県一乗谷朝倉氏遺跡研究協議会委員などを務めています。 |

### 橋本 行史 HASHIMOTO KOSHI 観光学部 特任教授

|          |  |
|----------|--|
| 専門分野     | 経営学、公共経営・地域経営、観光まちづくり  |
| 研究活動     | 日本各地に残された歴史文化遺産を発掘・再評価して、地域の活性化につなげる研究をしています。  |
| 担当授業     | 観光とマーケティング、観光とマーケティング論、観光とサービス、観光と経営、観光事業体概論、地域連携実践1、地域連携実習1、文化鑑賞創造実践1、職業連携実践1、職業実践実習1、専門演習I・II、卒業研究I・II |
| 学外での取組など | 地方自治体の総合計画・総合戦略、行財政改革の策定・評価委員を務めています。地域問題研究学会会長としても活動しています。  |

### 渡部 美智子 WATANABE MICHIKO 観光学部 特任教授

|      |   |
|------|---|
| 専門分野 | 旅行ビジネス、地域観光   |
| 研究活動 | 地域観光における住民の参加に関する研究を行い、旅行業務取扱管理者試験に関する情報収集にも努めています。 |
| 担当授業 | 旅行業法・約款、国内旅行業務、海外旅行業務、国内旅行業務基礎、専門演習I・II、卒業研究I・II    |

## ◆教員紹介

|          |                  |
|----------|------------------|
| 学外での取り組み | 「旅の楽しみ方」などの講座を開講 |
|----------|------------------|

### 竹田 茉耶 TAKEDA MAYA 観光学部 准教授

|          |  |
|----------|--|
| 専門分野     | 観光学、観光まちづくり  |
| 研究活動     | これまでは観光まちづくりの観点から、地域社会の持続的な発展に寄与する観光のあり方について研究してきました。最近では、労働（現代社会では主として賃労働として現れます）と余暇の関係から、地域社会の担い手問題について考えています。 |
| 担当授業     | 観光事業体概論、観光史、観光と空間、観光学原論、観光調査入門、観光まちづくり論、地域連携実践1・2、地域連携実習1・2、職業連携実践1、職業実践実習1、専門演習I・II、卒業研究I・II、                   |
| 学外での取り組み | 熊取町内の事業者と連携し、地元産品を使った商品開発に取り組んでいます。  |

### 山本 剛 YAMAMOTO TSUYOSHI 観光学部 准教授

|          |   |
|----------|---|
| 専門分野     | 観光産学連携・観光フィールドワーク・キャリア教育(就職活動)・ペットツーリズム など  |
| 研究活動     | ◆産学協同/クラブツーリズム(株)、東武トップツアーズ(株)、南海電気鉄道(株)、一般社団法人大阪外食産業協会(ORA)※大阪・関西万博パビリオン「宴」、いずみピクルス社などと実施<br>◆観光情報発信/ゼミ活動や地域連携の授業を通じてInstagramにて発信推進<br>ゼミ→yama10ravel_<br>泉佐野PR→explorer_izumisano<br>◆ペットツーリズム/現場取材や研究を推進中 |
| 担当授業     | 観光事業体概論、観光ツアー商品企画論、キャリアプランニング、キャリアデザイン、キャリアガイダンス1・2、地域連携実践1、地域連携実習1、職業連携実践1、職業実践実習1、専門演習I・II、卒業研究I・II   |
| 学外での取り組み | ◆全国の新卒学生に向けた就活支援◆<br>新卒学生向けのホテル業界合同企業説明会やワークショップにおいて、東京会場・大阪会場ともに、企画段階から、当日の特別講演やMCを務めています<br>民間のキャリアアドバイザー経験から、学生・企業双方の立場から「新卒のよりよい就職支援と環境整備」を専門学校→首都圏の大学→現職と、14年間継続しています。                                   |

### 河村 悟郎 KAWAMURA GORO 観光学部 講師

|      |   |
|------|---|
| 専門分野 | 文化人類学、観光学   |
| 研究活動 | スポーツツーリズムに関する研究を進めており、特にプロサッカークラブの経営やサポーター文化などを対象としたサッカーツーリズムの動向に関心を持っています。 |
| 担当授業 | 観光事業体概論、観光史、観光と文化、観光と情報、観光調査入門、環境リテラ  |

## ◆教員紹介

|          |   |
|----------|---|
|          | シー、地域連携実践1、職業連携実践1、職業実践実習1、調査研究2・3、専門演習I・II、卒業研究I・II                                |
| 学外での取り組み | プロサッカークラブを対象としたフィールドワークを行っており、特にセレッソ大阪と連携した研究活動を行っています。その成果は定期的に学会やシンポジウム等で発表しています。 |

### 尤 驍 YOU XIAO 観光学部 講師

|          |  |
|----------|--|
| 専門分野     | 文化人類学  |
| 研究活動     | 台湾先住民族ルカイの伝統的な政治制度の近代化、文化復興と文化観光、SNSをはじめとしたテクノロジーの利用に関する研究を進めています。 |
| 担当授業     | 旅人論—観光学入門I、観光と倫理、環境リテラシー、日本語表現基礎・応用、基礎演習、調査研究1・2・3                 |
| 学外での取り組み | 日本文化人類学会、日本台湾学会、観光学術学会の会員として研究活動を進めています。                           |

### 辻 卓也 TSUJI TAKUYA 観光学部 講師

|          |  |
|----------|--|
| 専門分野     | ダンス、エンターテインメント、舞台                                  |
| 研究活動     | ダンスを通じて学生のストレス発散や、運動不足解消などを目的に教えています。              |
| 担当授業     | コミュニケーション演習、日本語表現基礎・応用、文化鑑賞創造実践1、調査研究2・3           |
| 学外での取り組み | 高校ダンス部にレッスンしたり、アーティストのバックダンサー、大会審査員、ゲストショーなどしています。 |

### 速水 聡子 HAYAMI SATOKO 観光学部 講師

|          |   |
|----------|---|
| 専門分野     | 室内楽、芸術によるコミュニティ連携   |
| 研究活動     | 室内楽実践の原則やその他の芸術的要素の付与が、大学での教育や様々なコミュニティとの連携活動に与える影響について研究しています。 |
| 担当授業     | 観光とアート、日本語表現基礎・応用、文化鑑賞創造実践1、基礎演習、調査研究1・2・3                      |
| 学外での取り組み | ピアニストとして、アメリカやその他の海外地域で、各地のアーティストとコラボレーションをしながら演奏公演を行っています。     |

### 冨手 貴子 TOMITE TAKAKO 観光学部 講師

|      |   |
|------|---|
| 専門分野 | 英語教育、異文化コミュニケーション、グローバル人材育成   |
| 研究活動 | 国籍や世代、性別や立場の違いを含む広い意味での異文化コミュニケーションに関心があります。SNSやスマートフォン普及で変化する学生に注目し、異文化コミュニケーション力や多角的視点を育む研究に取り組んでいます。 |
| 担当授業 | 必修英語I・II、基礎演習、調査研究I、日本語表現基礎・応用、海外文化実践   |

## ◆教員紹介

|          |   |
|----------|---|
| 学外での取り組み | 国際理解教育学会や日本比較文化学会等に所属し、日々研究活動に取り組んでいます。 |
|----------|---|

### 小森 三恵 KOMORI MIE 国際交流学部 学部長・教授

|          |  |
|----------|--|
| 専門分野     | 認知心理学、ワーキングメモリ、メタ認知  |
| 研究活動     | 人間の心的活動を支えるワーキングメモリの活動について、メタ認知機能がある特徴である目標志向性にどのように関与しているかを探求しています。とくに、自己のパフォーマンスに対するモニタリングのはたらきに注目し実験的検証を行っています。 |
| 担当授業     | 心が動く仕組み、基礎演習、調査研究1・2・3   |
| 学外での取り組み | 日本心理学会、日本基礎心理学会、日本ワーキングメモリ学会会員。  |

### 森田 吉彦 MORITA YOSHIHIKO 国際交流学部 教授

|          |  |
|----------|--|
| 専門分野     | 政治学、歴史学  |
| 研究活動     | このところ、日米中関係を中心とした東アジア国際史だけでなく、日本や東アジアにおける国際政治学の歴史にも研究を拡げています。『孫子』を手がかりにインテリジェンス研究も細々と続けており、拙稿の中国語訳が出たり国際学会に招かれたりしております。                              |
| 担当授業     | 地元を知る、外国史1・2、市民リテラシー、日本語表現基礎・応用、基礎演習、調査研究1   |
| 学外での取り組み | 日本国際政治学会の大会運営の任期が終わったものの、今度は登壇する側にまわることになり、仕事が続きます。国際政治学者若泉敬の関連では、若泉の地元福井県越前市で一般向けの講演を行なったのに続き、今度は中学校で講義を引き受けることになりました。国際秩序が岐路にある現在、少しでも啓蒙になればと思います。 |

### 谷口 裕久 TANIGUCHI YASUHISA 国際交流学部 教授

|          |  |
|----------|--|
| 専門分野     | 文化人類学（社会人類学）   |
| 研究活動     | 華南から東南アジア大陸部における少数民族—とくに苗族／モン[Hmong]—の文化・社会的動態研究をおこなっています。平易に言えば、東アジア～東南アジアの国境を越える移住者（移民）の研究が中心です。 |
| 担当授業     | 観光と倫理、社会科学入門、グローバルリテラシー、調査研究2・3、専門演習I・II   |
| 学外での取り組み | 国際学会のみならず、他学での学術講演会や、博物館での展覧会の企画にも参加しています。   |

### 湯浅 千映子 YUASA CHIEKO 国際交流学部 教授

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 専門分野 | 日本語教育学・日本語学・社会言語学                    |
| 研究活動 | 学部留学生の要約力を活かしたレポート作成の学びに関する研究        |
| 担当授業 | 言語学概論、日本語学概論、日本語文献読解と要約、日本語の音声、日本語表現 |

## ◆教員紹介

|          |   |
|----------|---|
|          | 基礎・応用、基礎演習、専門演習 I・II、(卒業研究 I・II)、調査研究 1 |
| 学外での取り組み | 表現学会一般理事、同学会広報委員会委員長                    |

大又巧也 OHMATA ATSUNARI 国際交流学部 講師

|          |  |
|----------|--|
| 専門分野     | 物理学、数値シミュレーション   |
| 研究活動     | 統計物理学に基づく分子シミュレーションや社会現象の数理モデルの研究を進めています。                                |
| 担当授業     | 科学技術リテラシー、日本語表現基礎・応用、地域連携実践 1、地域連携実習 1、職業連携実践 1、職業実践実習 1、基礎演習、調査研究 1・2・3 |
| 学外での取り組み | 地元のインターネット放送局との連携授業を担当。放送局主催の社会活動にも参加しています。                              |

